

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和7年度期末）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	旭区では、地域運営アドバイザー（会計年度任用職員）2名と地域課職員2名による計4名が地域支援業務を担っている。 ・全地域活動協議会の定例会議等に参加し、地域の声を聞くことでニーズや課題の把握に努め、その解決に向けた助言、提案等の支援を行った。 ・各地活協ホームページの掲載情報にかかる助言や各地域のかわら版（広報紙）の作成支援、効果的な SNS 発信を行うことで、広く地域活動に興味を持ってもらえるような広報に努めた。 ・転入者パックに町会加入促進チラシを封入、地域活動協議会の中心団体である地域振興会の加入率向上に努めている。 ・地活協補助金システムによる会計管理の定着を図るため、令和6年度に引き続き、各地活協に対し個別の会計説明会及びシステム操作研修を実施することで、会計担当者スキルのさらなる向上に努めた。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	・令和7年度地活協アンケートにおいて「地域活動協議会に対して、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思いますか。」の項目について肯定的意見が100%であった。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・日頃から積極的に地域に出向いて意見を聴取し、ニーズに沿った支援に努めることで、地域との関係性を強化してきたこと、信頼関係の強化に努めてきたことは大いに評価できる。また、令和7年度からの地活協補助金システムの導入にあたり、操作指導を含めきめ細やかな支援を継続し、会計担当者のスキル向上に努めてきたことは大いに評価できる。引き続き、地域との信頼関係を大切にしながら、各種支援に努められたい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。